

## 事業者・自治体ヒアリングの論点

### ○ 鉄道ネットワークのあり方と地域におけるモビリティの最適解に関する考え方

- ・自分のまちのビジョンやグランドデザインがあり、それを作るために鉄道が必要だというロジックが必要
- ・幹線鉄道を含めたネットワークのグランドデザインを国で描くべきではないか
- ・鉄道に限らず地域内の輸送全体のグランドデザインが重要

### ○ まちづくりとローカル鉄道への関わり方についての意見（事業者と自治体との調整状況含む）

- ・JRローカル線が厳しい状況であるのは、地域を巻き込んでいないからではないか
- ・地域公共交通計画においても鉄道の議論が行われている地域は少ない
- ・事業収支が厳しいのなら他の便益、特に鉄道を生かした地域づくりをどう進めるのかが重要
- ・今後何十年も当該地域で生活する世代が地域をどうしていきたいか、地域を担う意思を引き出す必要がある
- ・立地適正化計画にJR路線が入っていないのは問題。まちづくりの重要なツールとして鉄道を位置づけることが重要
- ・首長が変わると施策が変わるということがあり得る。都市計画決定のようなピン留めできる制度設計が必要ではないか

### ○ 内部補助で路線を維持することについての意見、公的負担の在り方

- ・黒字で赤字路線を補填するだけの理屈を地方側が合理的に説明することが必要
- ・内部補助は経済学的な観点からも賛成できない。県側の発言に違和感
- ・自治体の一般会計予算の0.3%は地域公共交通にかけられるはず

### ○ ローカル鉄道を含む持続可能な地域公共交通に向け、国に求めること、役割

- (自治体への依頼) ローカル鉄道を含む持続可能な地域公共交通に向けて自らが果たす役割、事業者に求めること
- (事業者への依頼) ローカル鉄道を含む持続可能な地域公共交通に向けて自らが果たす役割、自治体に求めること